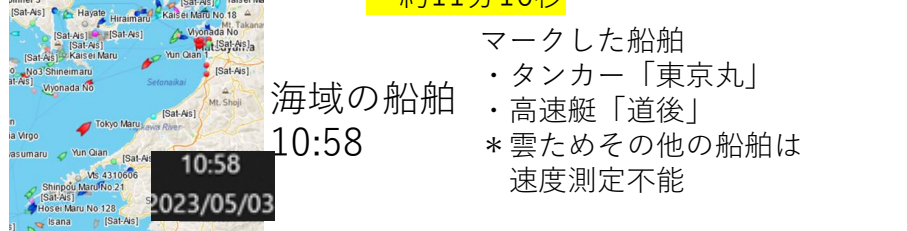
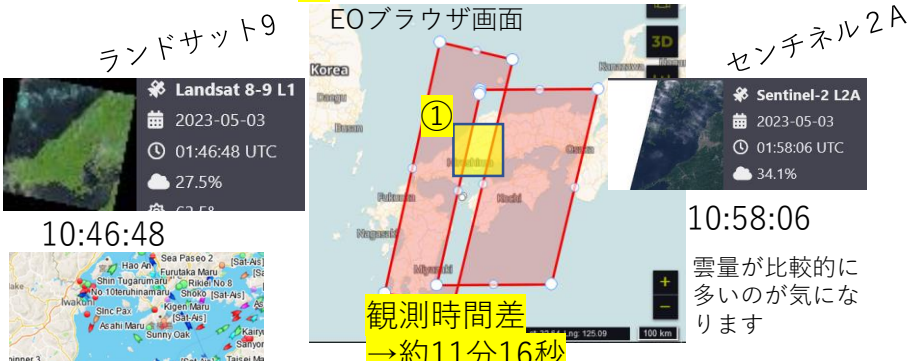


船舶の速度

飛行機雲と同じように、海面に描かれる船舶の航跡は魅力的です。「おや」「まあ」「フーン」を連発です。

センチネル2 Aと2 Bは、それぞれ10日毎に同じ場所を観測します。ランドサット8と9は、それぞれ16日毎に同じ場所を観測します。2つの衛星が、ある場所を同じ日に観測する機会が定期的に生じます。5月3日、瀬戸内海の①の場所で、その観測機会がありました。



- マークした船舶
- ・タンカー「東京丸」
 - ・高速艇「道後」
- * 雲ためその他の船舶は速度測定不能

2つの衛星の観測時間帯に合わせて、「マリントラフィック」で、観測海域の船舶の動向を調べを決めてました。

この海域は呉・松山間と伊予灘は船舶が直線的に航行する海域です。

- ①まずランドサット9のEOブラウザ上に、マークする船舶の船首部分とみえる個所にマーク
- ②次にセンチネル2AのEOブラウザ上で、マークした船舶を探し、船首部分との距離を測る
- ③速度 = 距離 ÷ 時間 (約0.18時間)
- ④マリントラフィック上の表示速度と比較

* 衛星データ→©ESA
* 船舶情報→©マリントラフィック

移動距離 = 約4.3km
 時速 = 約23.8km
 → 12.8ノット

マリントラフィック情報では、13.1ノットの表示です。EOブラウザ上の速度測定も良好な数値のようです。②の拡大図でも、進路がほんの少し変更されていることが確認できます。



・広島・松山間の高速艇「道後」

移動距離 = 約9.7km
 時速 = 約53.8km
 → 約29ノット

船舶の速度変化は、マリントラフィックで確認できます。③

5月3日11時頃、「道後」の速度は約31ノットです。さすが高速艇です。平均速度が24.1ノット 最高速度約31ノット

さらに「道後」は、喫水(きっすい)が0mで、海面をすべるように航行しています。

天候の関係で、2つの事例しか説明できませんが、同一地域2衛星観測データは興味深いものがあります。「マリントラフィック」のような情報と照合すると「考える根っこ」が豊かにあります。